

玄海町立小中一貫校の施設及び 教育概要

本概要について

本概要書は、玄海町立小中学校基本構想等検討委員会で協議された内容を元に、校舎等の建設、教育ビジョン等について概要を説明しています。

この概要に関するご意見または質問がある場合、様式は問いませんので、はがきなどお手持ちの用紙に住所・氏名・質問内容等を記載してください。

提出先：玄海町役場教育課

〒847-1421 玄海町諸浦348番地

ファックス：52－3041

電子メール：kyouiku@town.genkai.lg.jp

1. 玄海町立小中学校基本構想等 検討委員会の設置について

①平成24年3月

玄海町立小中学校基本構想等検討委員会発足

②構成メンバー

- ・保育園、小学校、中学校の保護者
 - ・教育に識見を有する者
 - ・学校等建設に識見を有する者
- 全13名

コメント：H24年3月に検討委員会発足。全13名で構成。

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
検討委員会				
校舎建設の検討協議				
校舎建設取り纏め		●7月末		
実施設計				
教育ビジョンの検討・協議				
教育ビジョン実証等				
開校				●

検討委員会の流れは、
H24年3月発足、H27年3月まで継続協議。
H24.7月に基本構想のとりまとめ
現在、詳細設計中 H25.3 までにとりまとめる。
教育ビジョンを同時並行で協議中。H25.3月
をめどにとりまとめる。
H25、H26年度は、各学校でこういった取組を
していったらいいか、H27年度の開校に
向けて実際に行ってみる。

協議内容の報告：玄海町議会教育環境調査特別委員会で定期
報告

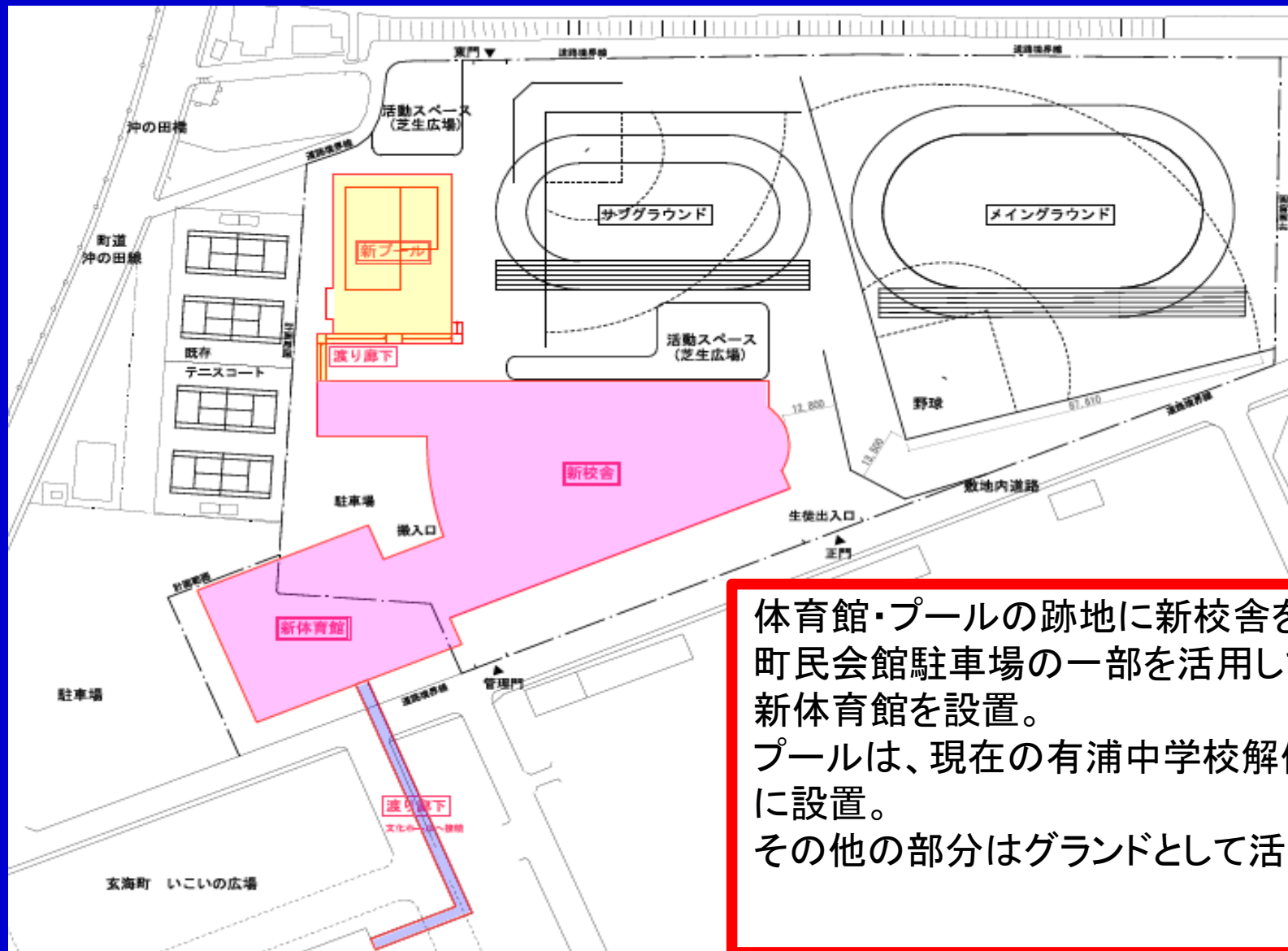
2. 玄海町立小中学校の新校舎概要

①小中学校のコンセプト

『愛着』が生まれる学校

- 9年間を慣れ親しみ、深く心に残る校舎で学校生活を送ることにより、自然環境、仲間、校舎、学習・スポーツに対する「愛着」を育む
- 学校は特別な場所ではなく、家の延長
社会で生きる力を身につける場所
- 自ら考え、自ら進んで動き、働く子どもを育成

②全体配置図



体育館・プールの跡地に新校舎を建設。
町民会館駐車場の一部を活用して
新体育館を設置。
プールは、現在の有浦中学校解体後
に設置。
その他の部分はグラウンドとして活用。

③校舎イメージ図



総合グラウンド側からみたイメージ

高さは、社会体育館と同程度の高さ
現在の校門は東門とし、新校舎の
校門は西側に設置

町民会館

総合グラウンド



④校舎(1階)

東門

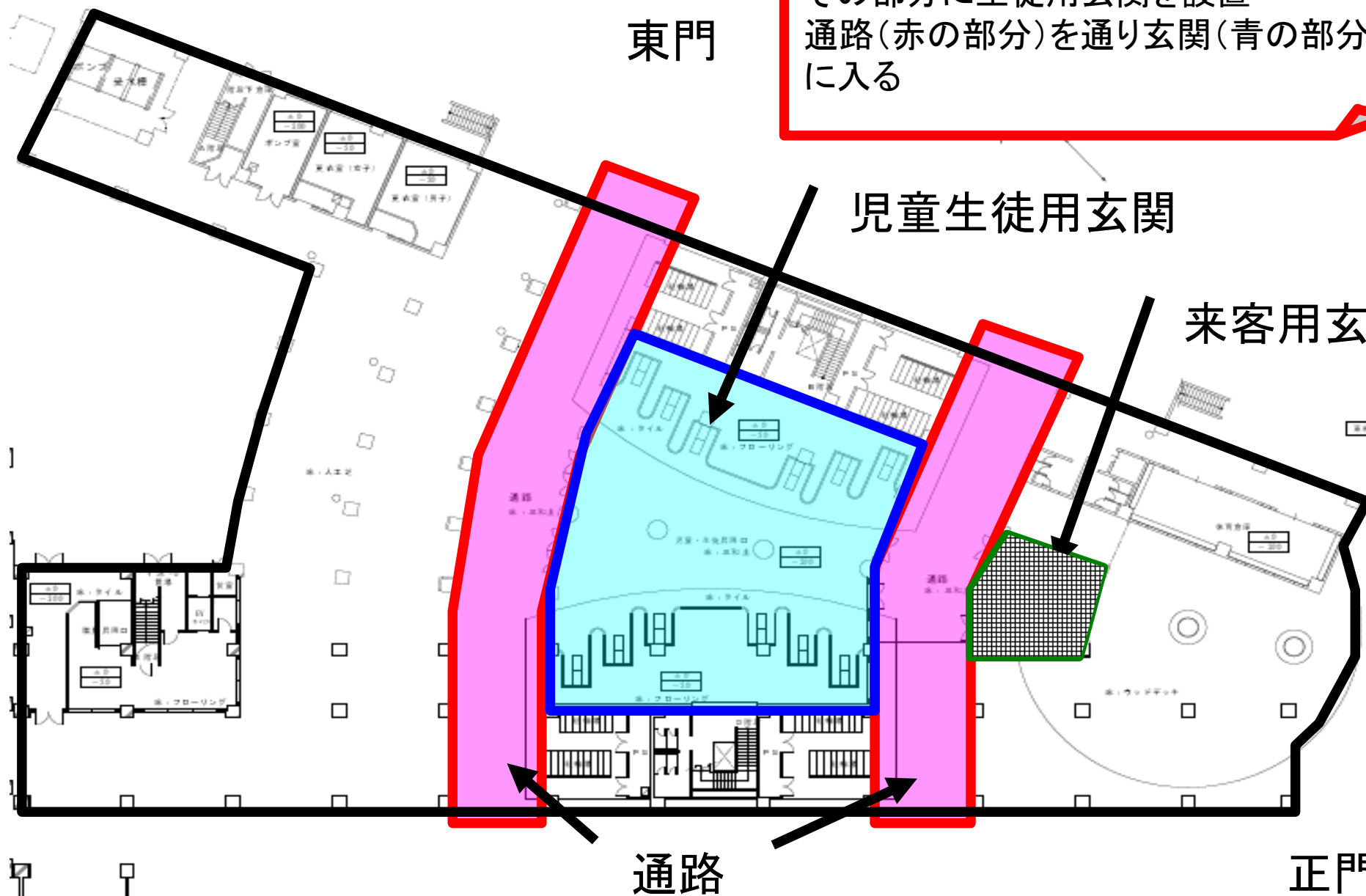
1フロアかさ上げ
その部分に生徒用玄関を設置
通路(赤の部分)を通り玄関(青の部分)
に入る

児童生徒用玄関

来客用玄関

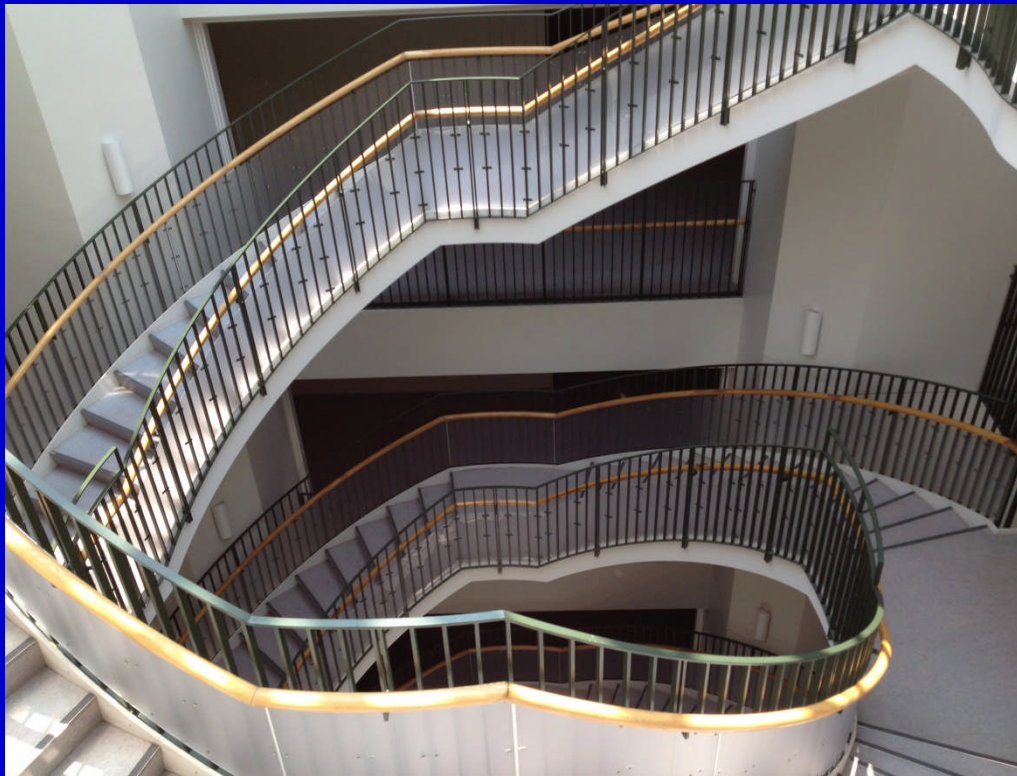
通路

正門



来客用玄関

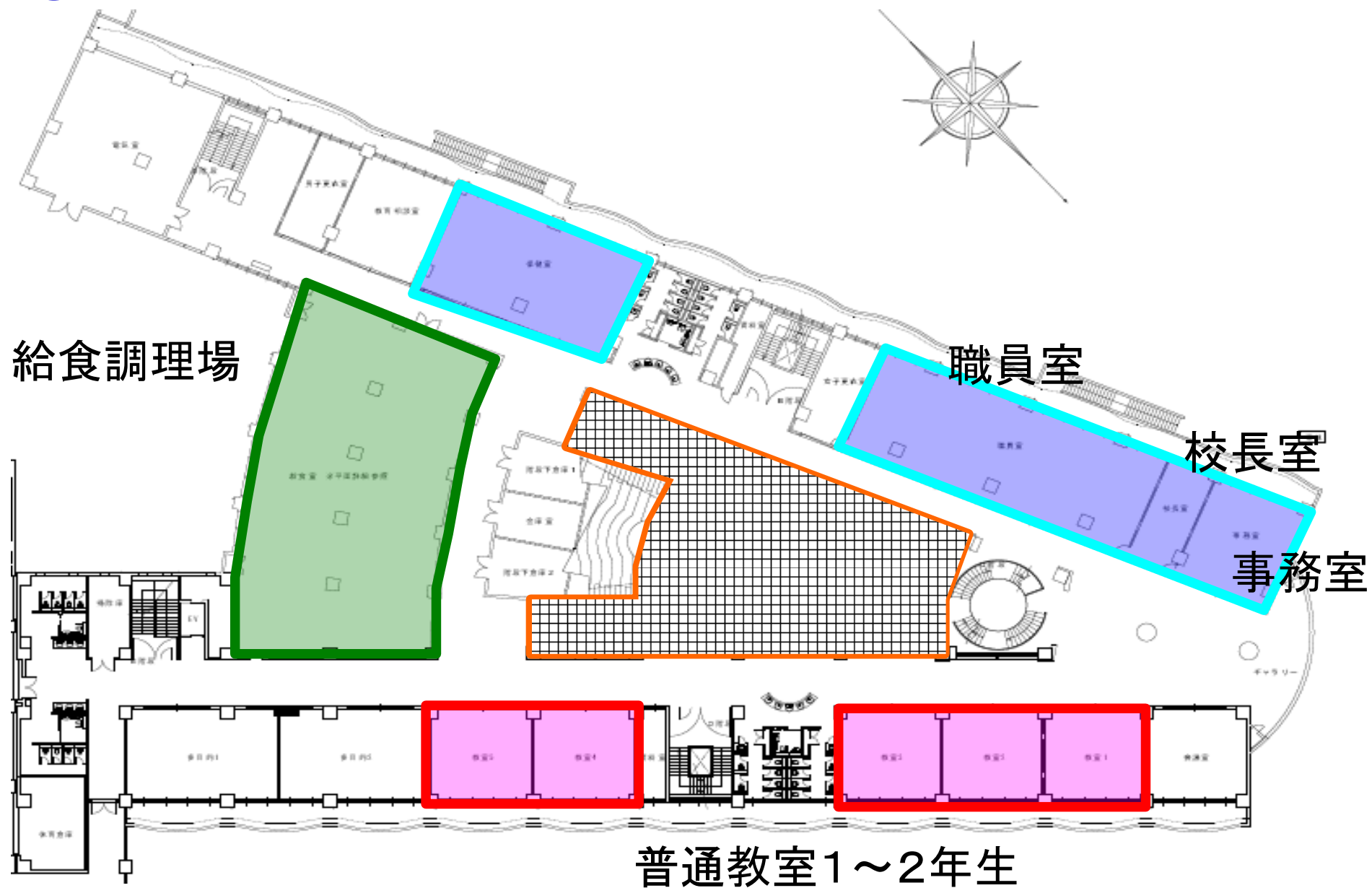
1階ピロティに設置。螺旋階段とし、天井に明かり取りを確保。階段部分は天井まで吹き抜け。



資料：西南学院中高等学校



④校舎(2階)



資料：西南学院小学校

7メートル

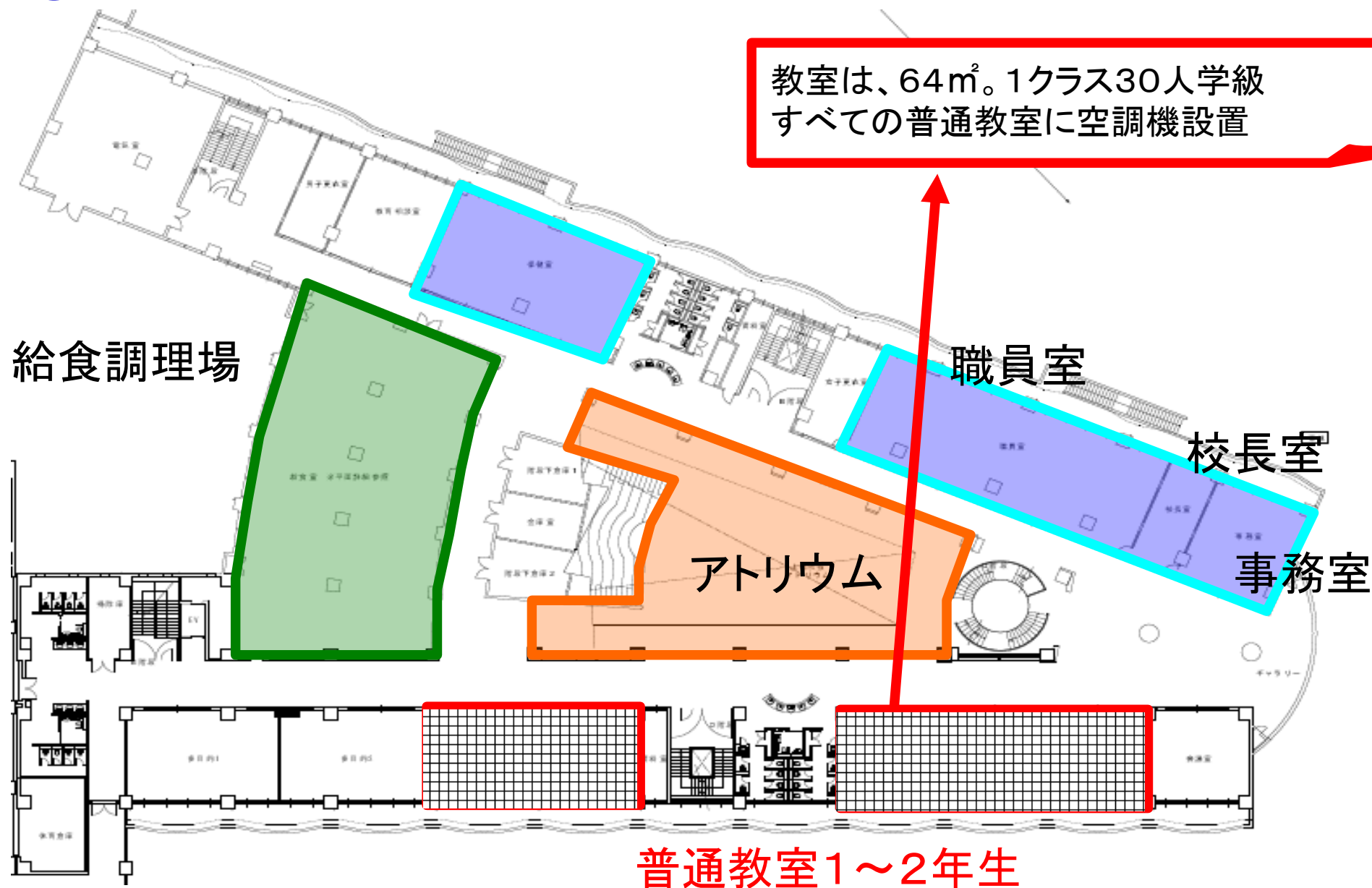
45メートル

中央部分がアトリウム。棟と棟を屋内でつなぐ空間。
グループや学年で集まることができ、多様な活動に
使用可能。
2階から4階まで吹き抜け。
天井はガラス張りで、明るさを確保。
ガラス面は、 $8.8\text{m} \times 50\text{m} = 440\text{m}^2$

アトリウムのイメージ



④校舎(2階)



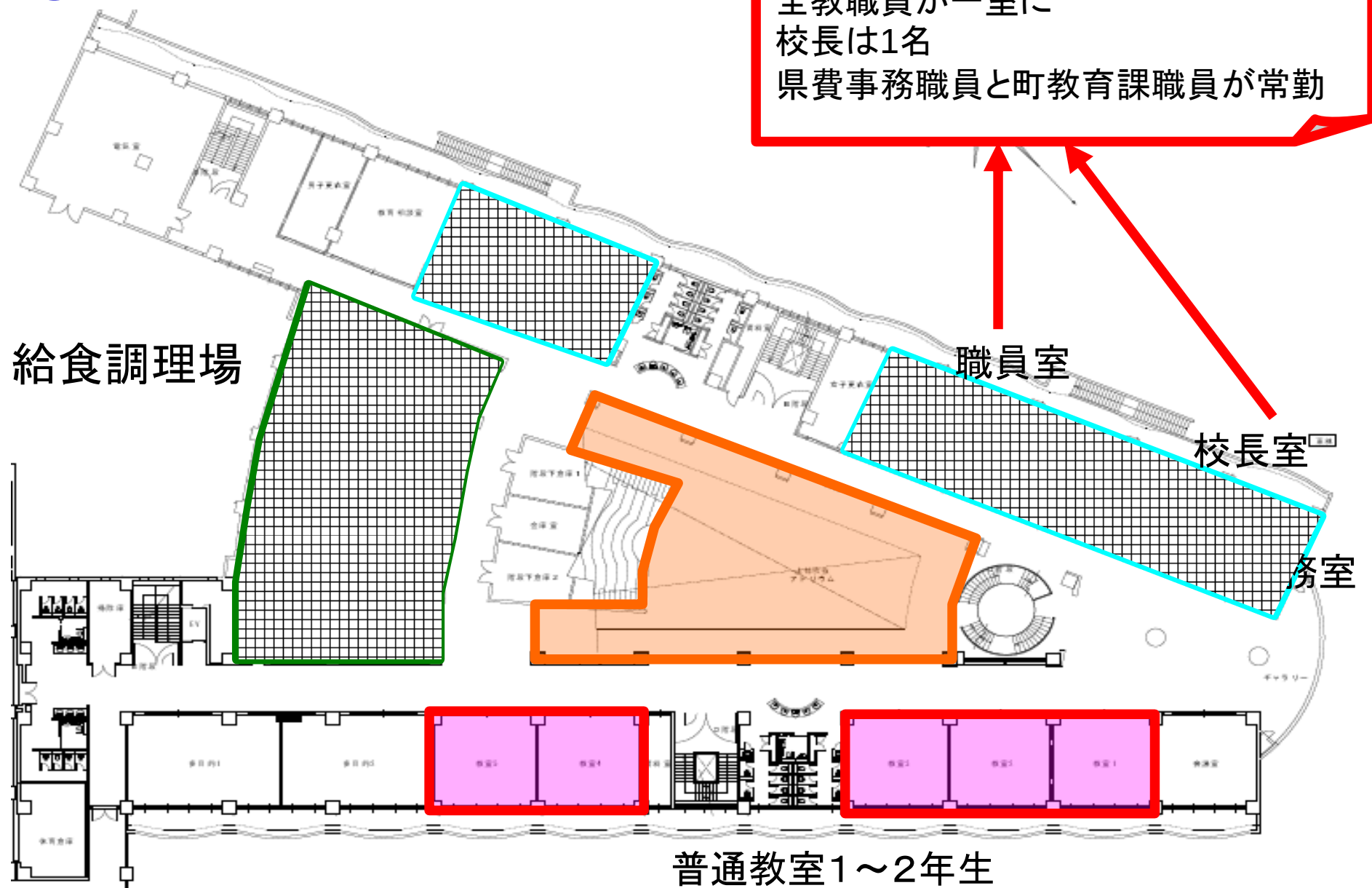


教室と廊下の間仕切りは、全面ガラス張り



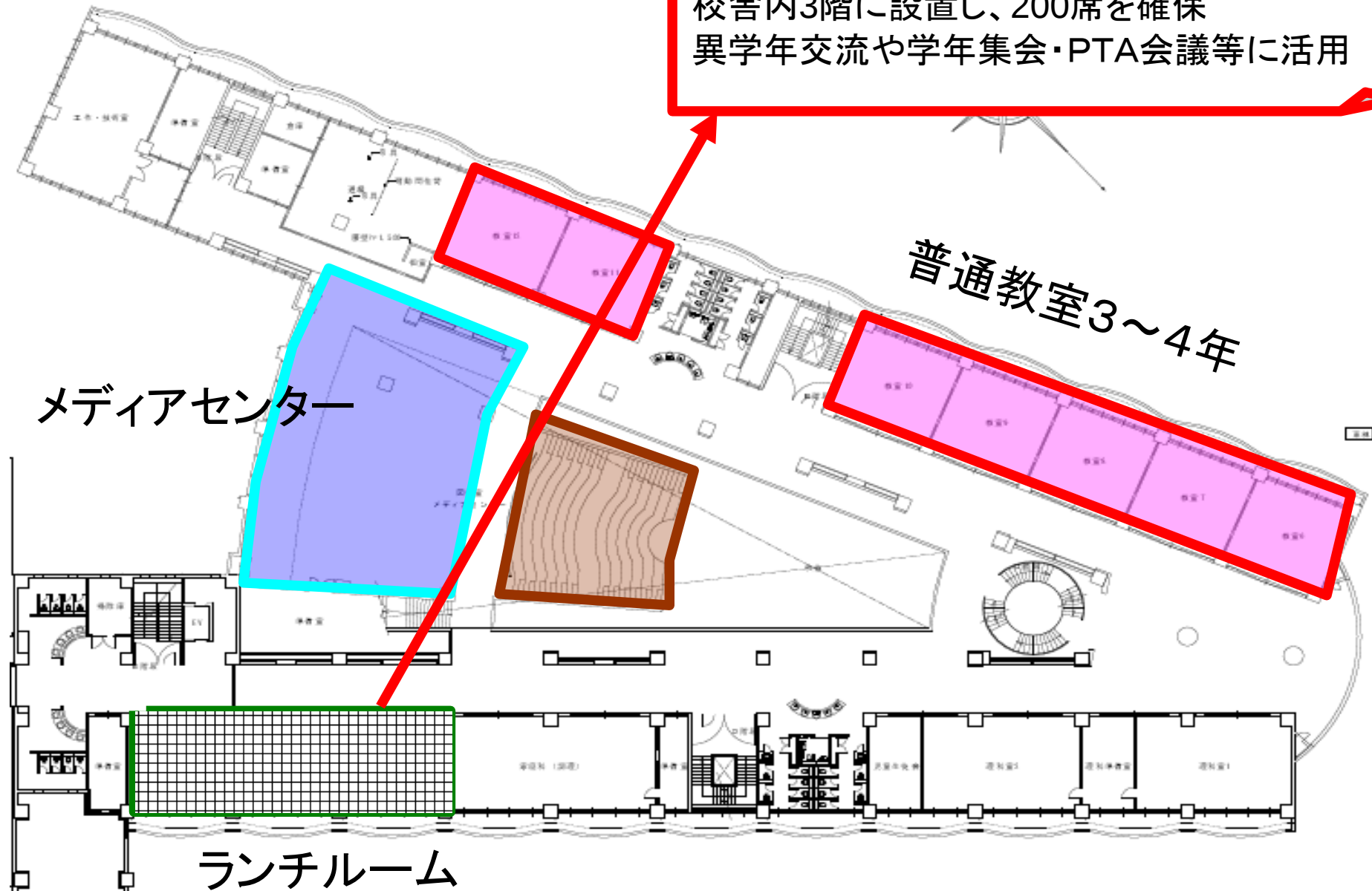
全屏可動式引戸
間仕切りを開くと、全体で約100㎡
グループ学習等で手狭になりやすいのを解消。

④校舎(2階)



④校舎(3階)

校舎内3階に設置し、200席を確保
異学年交流や学年集会・PTA会議等に活用



2階アトリウムから3階に登る階段
幅 最上部14メートル 最下部 11メートル

普通教室3~4年

メディアセンター

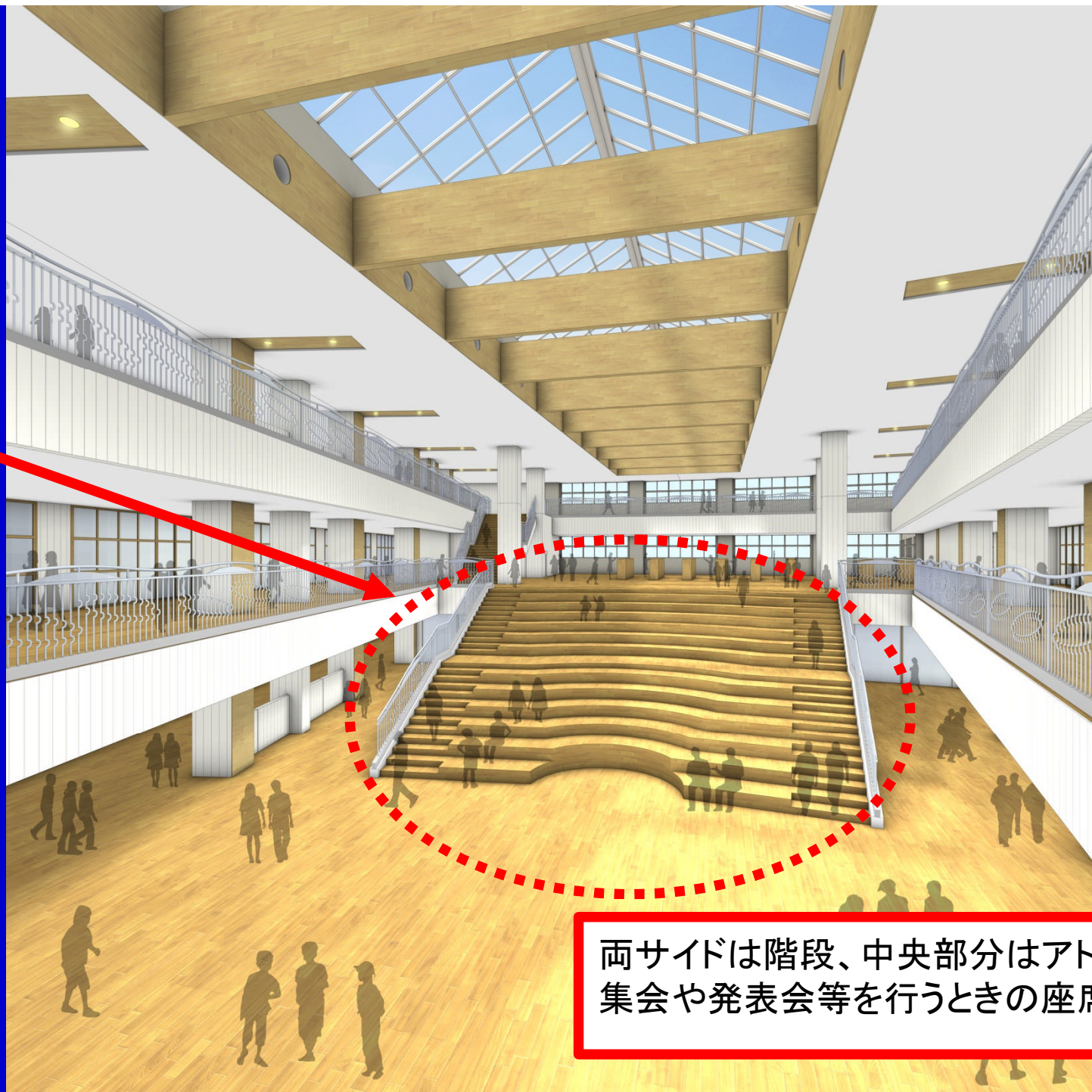
ランチルーム

普通教室3～4年

メディアセンター

ランチルーム

メイン階段



両サイドは階段、中央部分はアトリウムで
集会や発表会等を行うときの座席となる

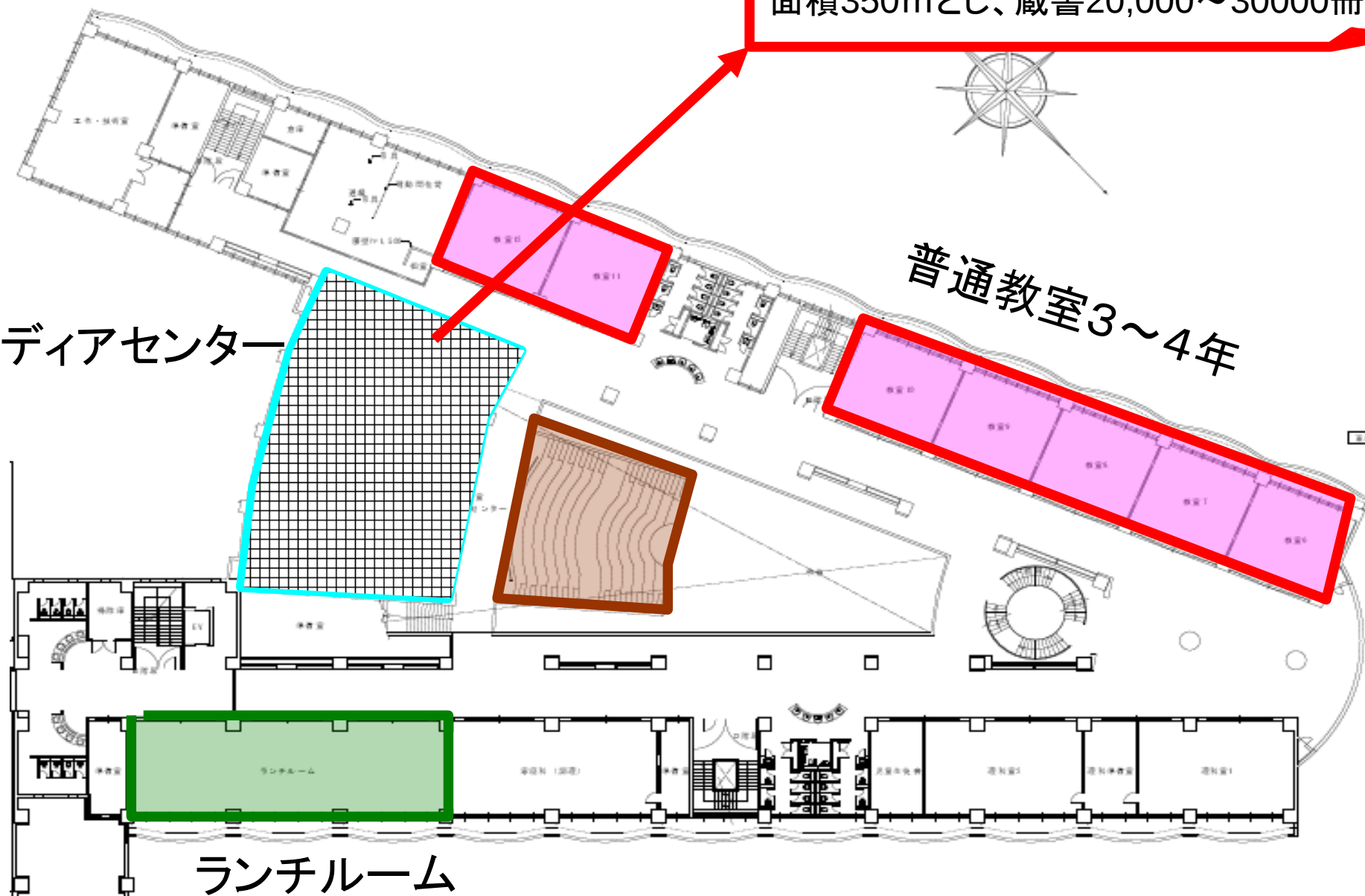
④校舎(3階)

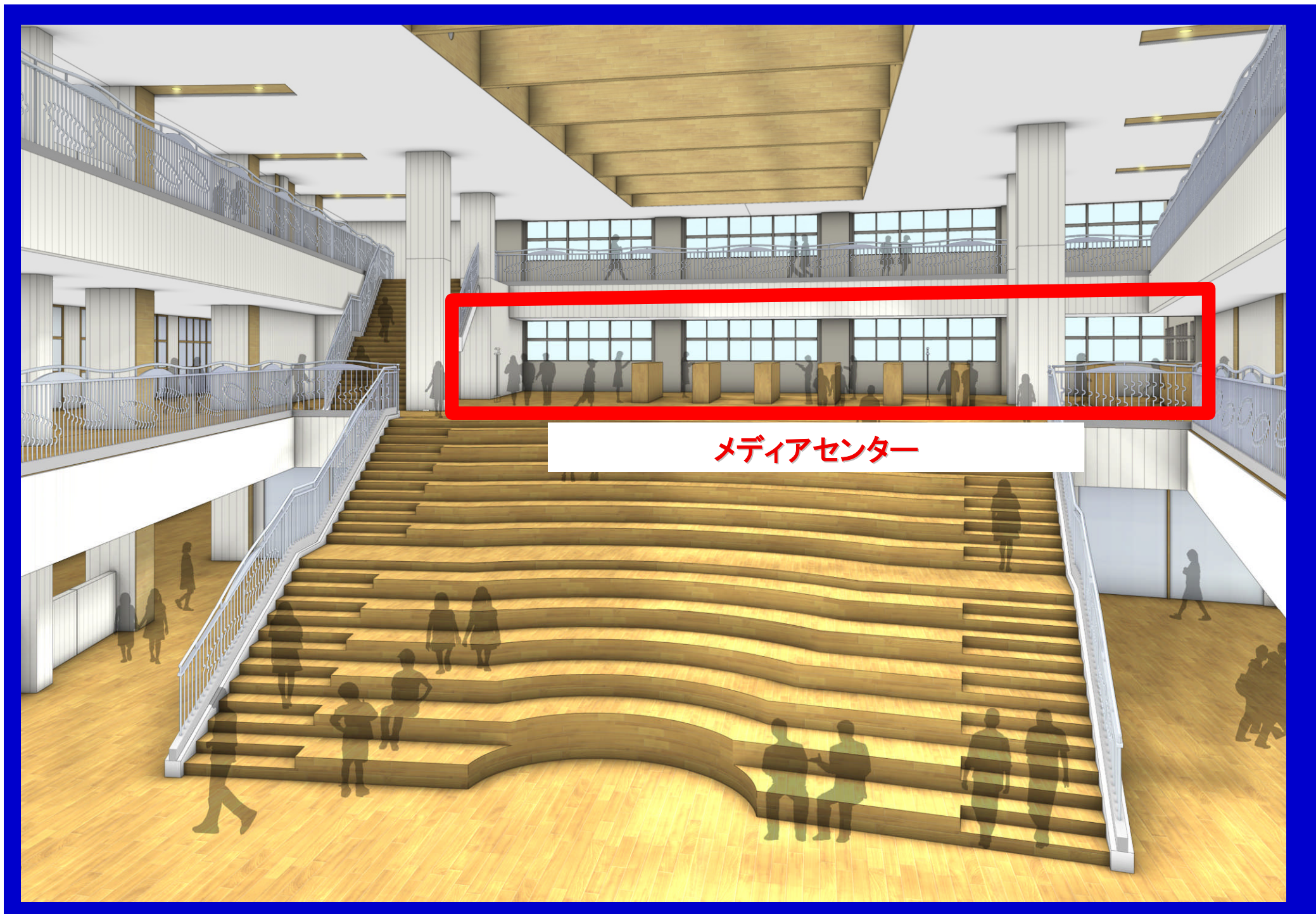
メイン階段上りあがったところに設置。
面積350㎡とし、蔵書20,000～30000冊。

メディアセンター

普通教室3～4年

ランチルーム

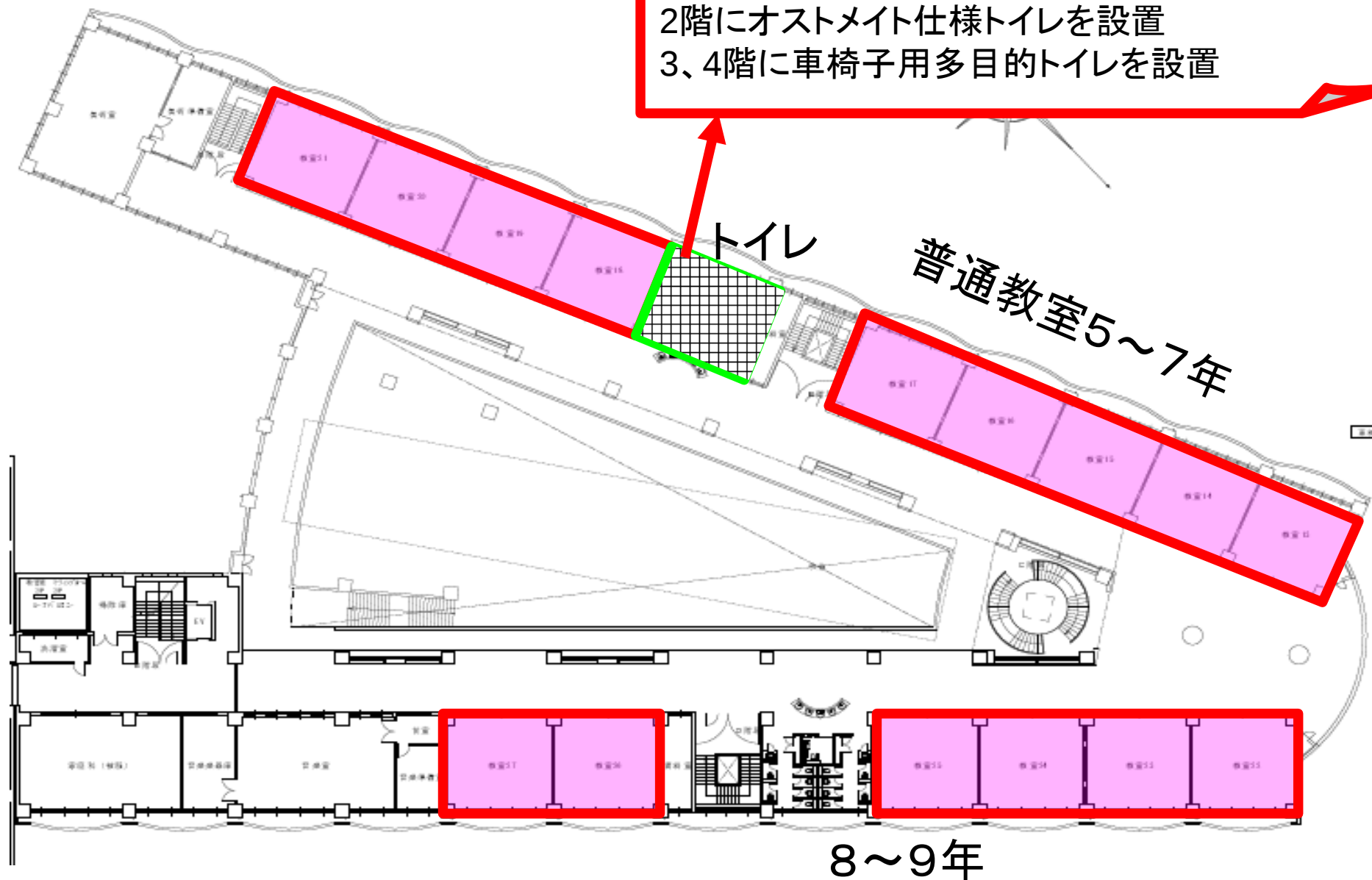




メディアセンター

④校舎(4階)

男子便所も含め、すべて洋式便器
小便器と和式便器は設置しない
2階にオストメイト仕様トイレを設置
3、4階に車椅子用多目的トイレを設置



便所の個室化

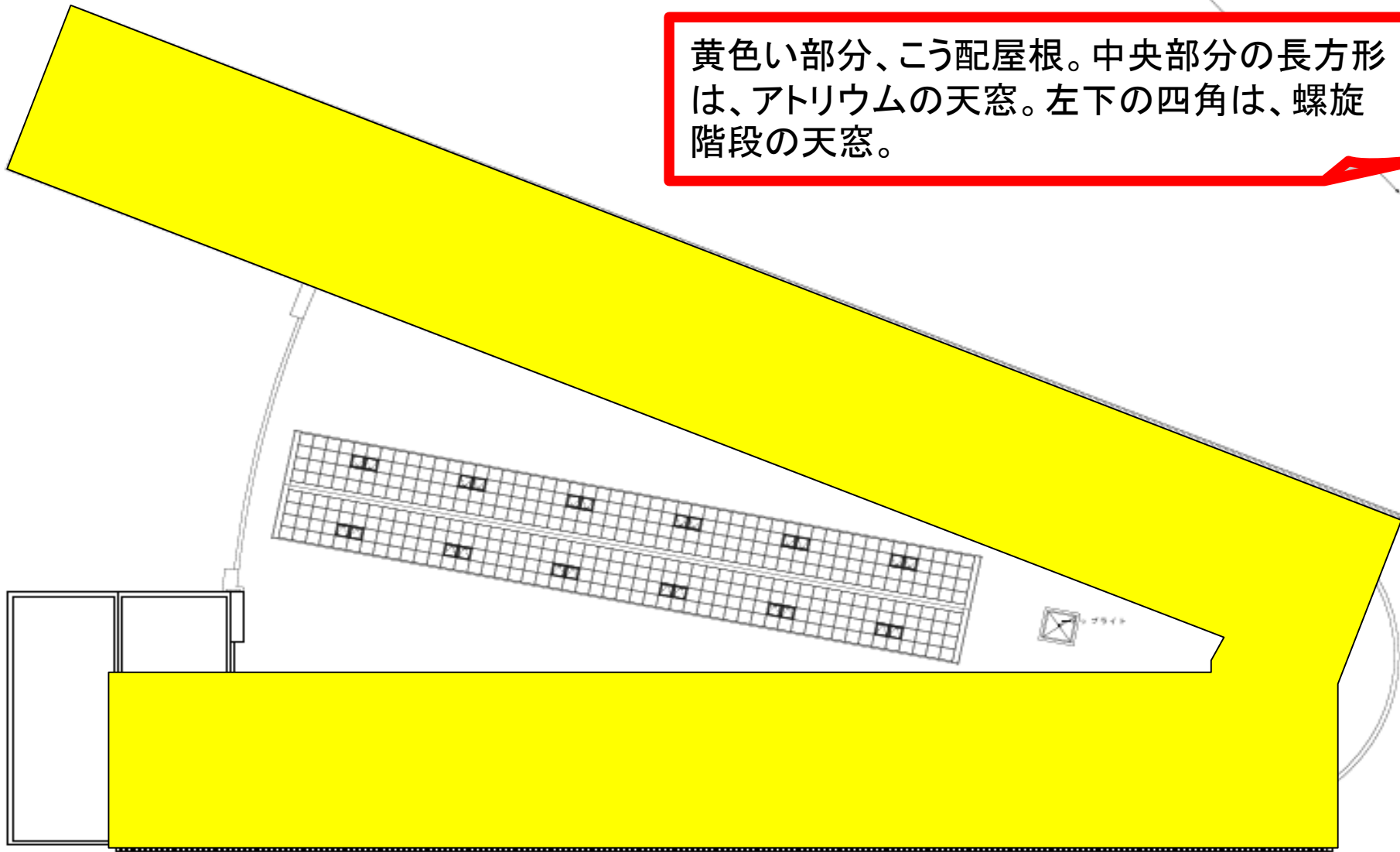


個室内の便器



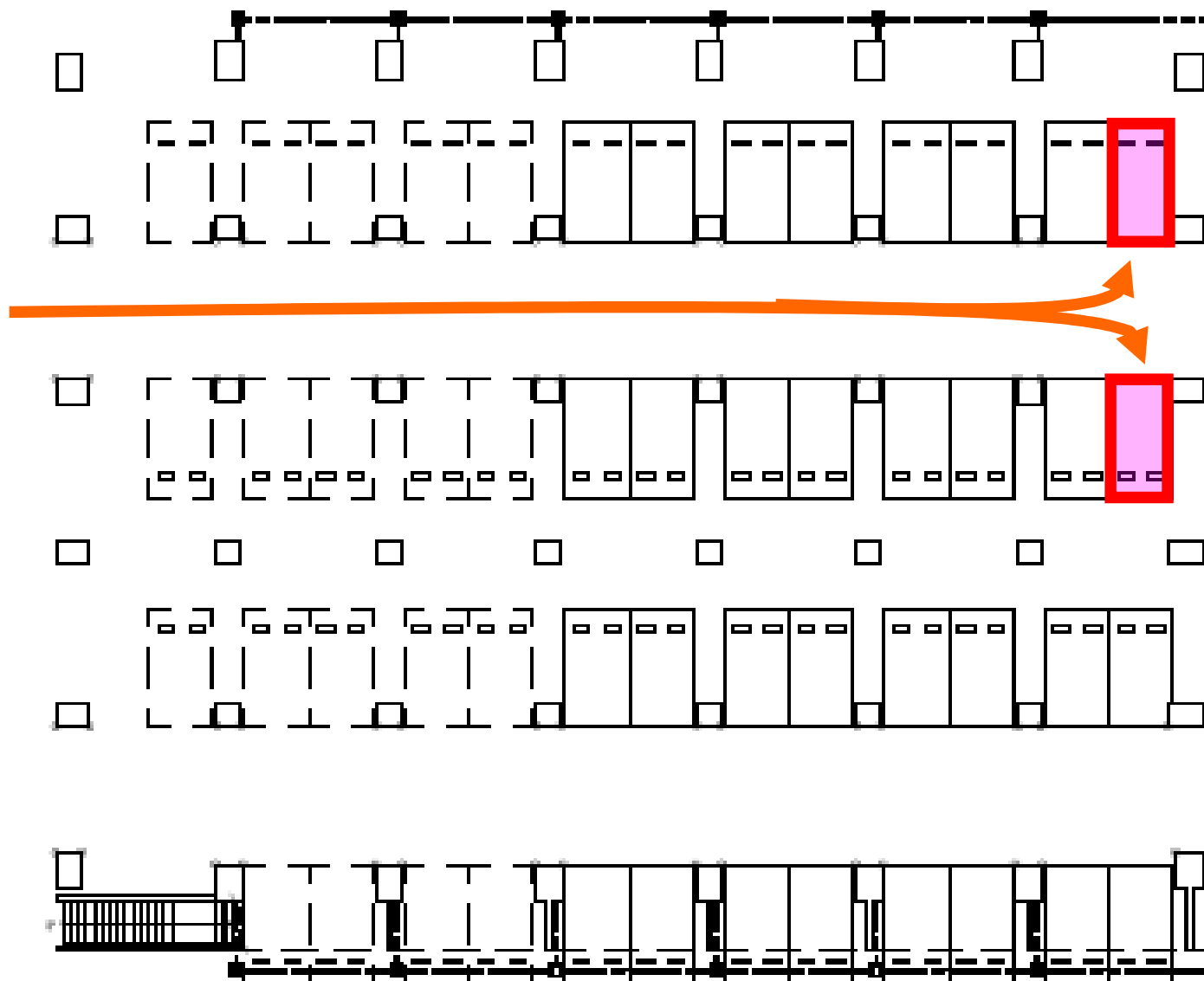
④校舎(屋上・屋根)

黄色い部分、こう配屋根。中央部分の長方形は、アトリウムの天窗。左下の四角は、螺旋階段の天窗。



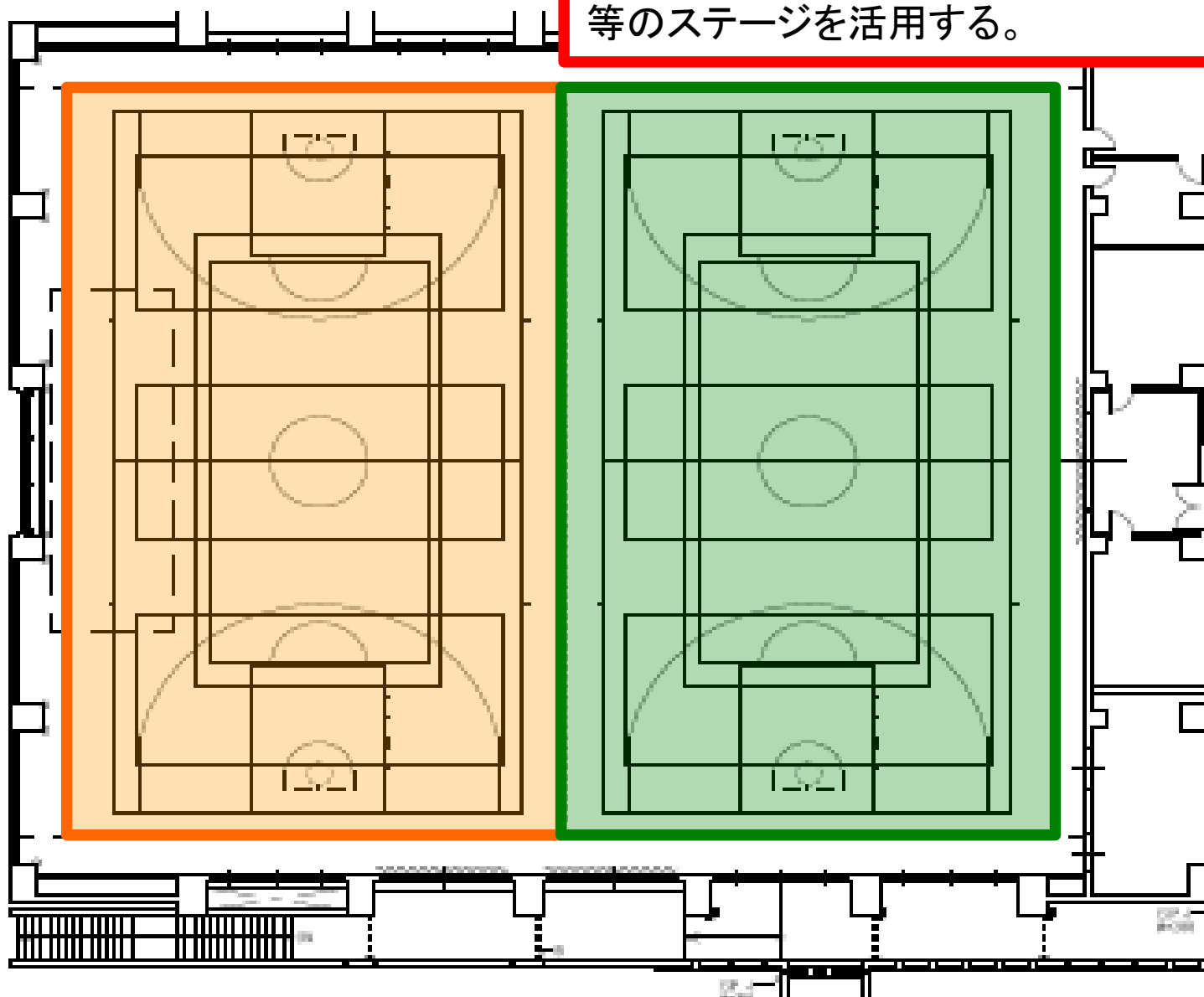
④体育館(1階)

1階部分駐車場

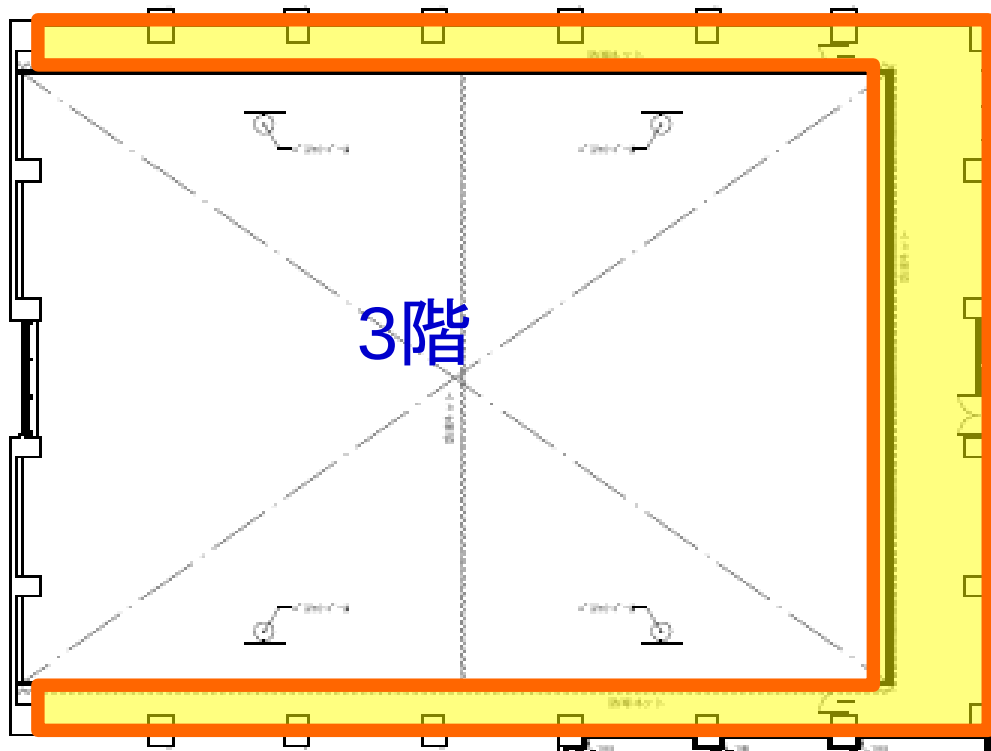


④体育館(2階)

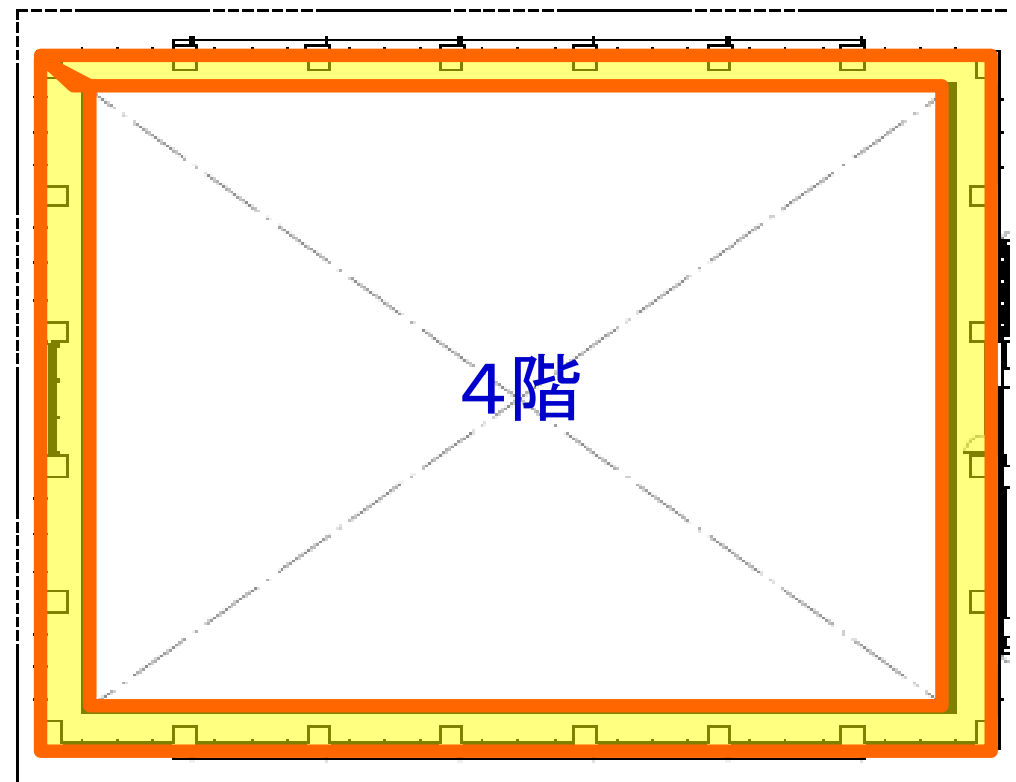
2階体育館アリーナ(バスケットコート設置)、
ステージは設けていない。ステージは町民会館
等のステージを活用する。



④体育館(3階、4階)

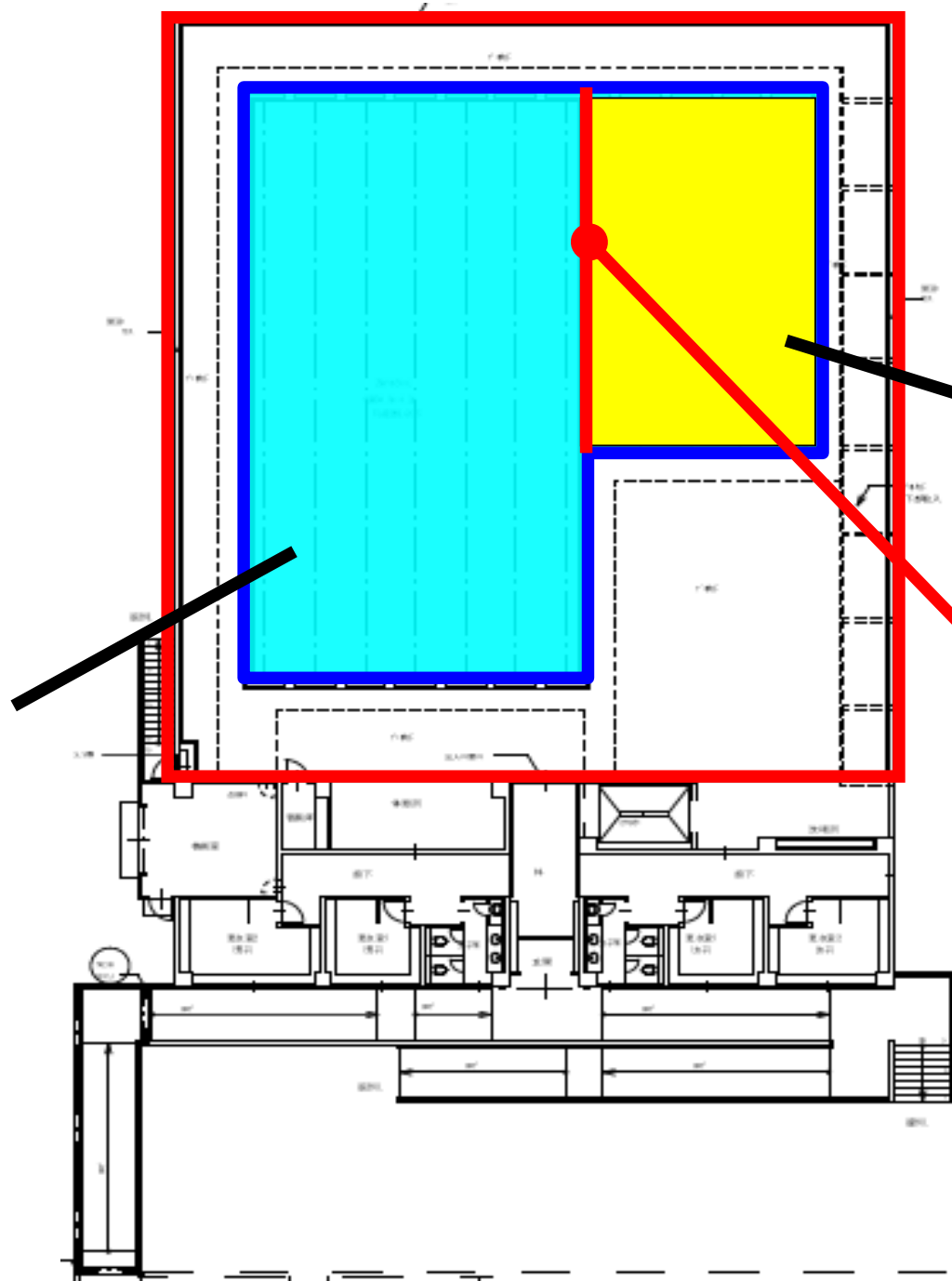


3階部分は、観覧用スペースに。
4階部分は、窓の開け閉め用通路を確保



④プール

従来のタイプ
25m
6コース
水深1m



新たに低学年
用を設置

15m
4コース
水深70cm

柵で区切る

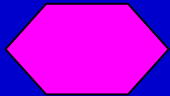
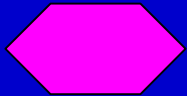
平成27年度
建設予定

④ 渡り廊下

校舎2階から町民会館東側へ通じる廊下（屋根付き）。学校の体育館で十分に活動ができない場合、入学式、卒業式、文化発表会、大きな行事ごとに、町民会館文化ホールを使用。



⑤建設スケジュール

	H24	H25	H26	H27
検討委員会				
実施設計				
解体工事				
建設工事				
開校				
旧校舎解体				
プール建設、 外構整備				

⑥解体工事

(1)解体場所：有浦中学校体育館およびプール

(2)解体期間：H25年1月～3月まで

防音、安全に十分に配慮

(3)体育館

使用不可期間：H25年1月～H27年3月

代替措置：体育や入学式、卒業式は、社会体育館
および文化ホールを使用

(4)プール

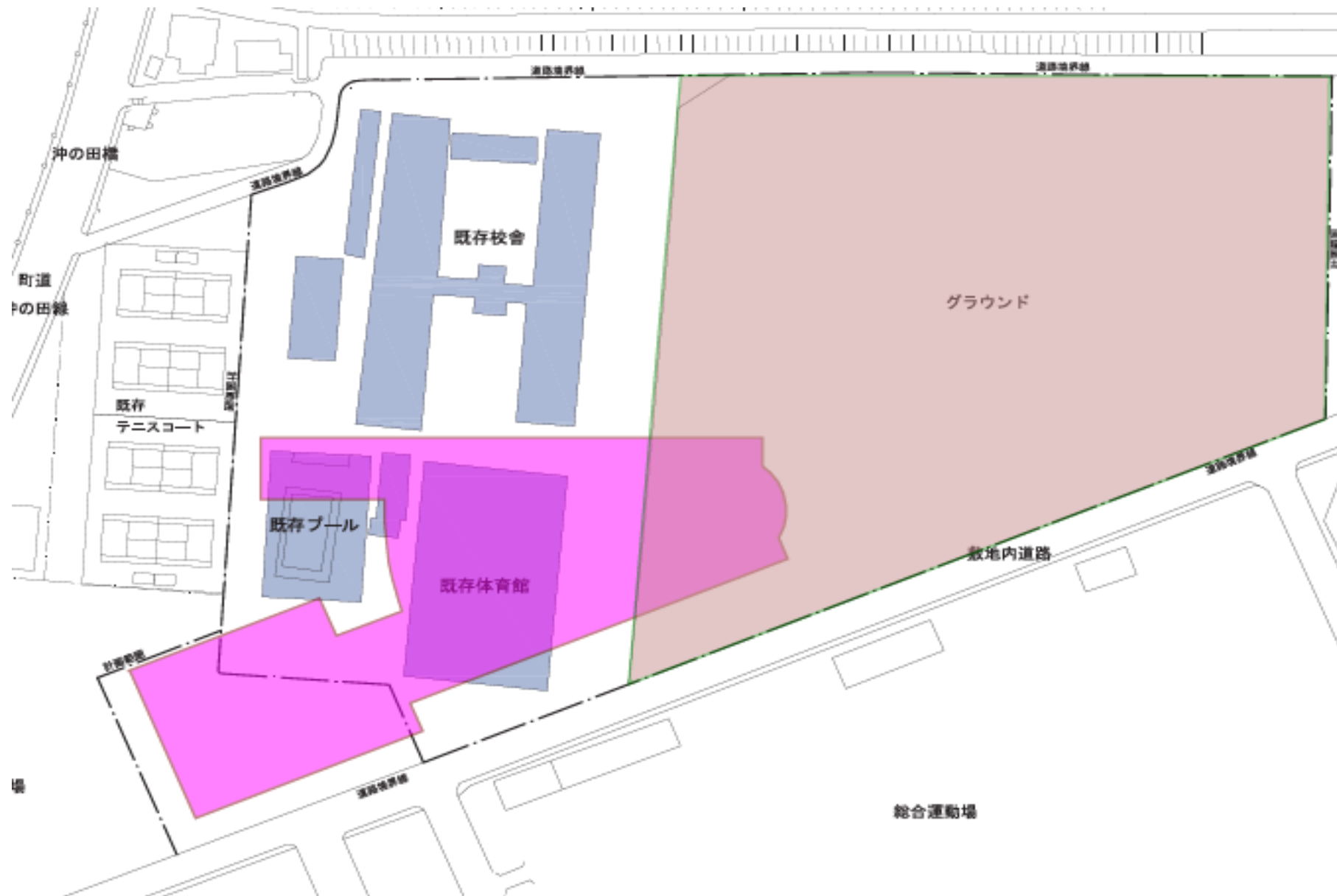
使用不可期間：H25年1月～H27年12月(予定)

代替措置：学校と協議・検討

解体範囲



新校舎建設範囲



3. 玄海町立小中学校の教育ビジョンについて

新しい学校での教育構想

【項目】

- ①学期制
- ②制服の導入
- ③ICT活用
- ④通学手段
- ⑤学校体力向上取組み
- ⑥学年区分
- ⑦授業時間
- ⑧校納金徴収
- ⑨立腰教育
- ⑩独自試験(ASU検)
- ⑪グリーンカーテン
- ⑫独自学習
- ⑬外国語学習
- ⑭ステップ学習
- ⑮持続発展教育

①⑥小中合同行事

①⑦給食提供方法

①⑧昼仮眠

①⑨部活動種目

①⑩夜間学習

①学期制・・・学校を何学期制にするのか。

佐賀県	小学校	中学校
3学期制	89. 5%	87. 4%
2学期制	10. 5%	12. 6%

2学期制の特徴

- ・夏休み前後や冬休み前後の終業式と始業式がない。
- ・成績評価が1回減る。

継続協議中

②制服の導入・・・制服を導入するのか

(1)小中一貫校の導入例

	小学生	中学生
七山小中学校	○	○
北山校		○
芙蓉校		○
熊本市立富合小中学校	○	○

検討内容

- ・制服の導入可否
- ・制服導入学年
- ・制服の形 など

継続協議中

③ICT機器の活用

仮決定事項

- ・電子黒板を活用した授業の実施
- ・タブレットPCを授業で使用
家庭では、宿題や出欠連絡等に活用
- ・普通教室は黒板ではなく、ホワイトボードタイプ
- ・タブレットは児童生徒・教職員全員使用する



つくば市立春日小中学校

④通学手段

仮決定事項

項目		内容
基本的考え方		①徒歩または自転車での通学を基本 ②通学に支障を与える場合、通学バス等を運用
通学バス利用者範囲		(ア)小学生は通学距離2.5km以上 (イ)中学生は通学距離4.0km以上 程度
下校時運行		授業時間による。基本は1～6年、7～9年の2便。
自転車通学		推奨
	利用範囲	5～9年生
	措置	電動アシスト自転車等利用者には、購入補助または貸与制度などを設ける。

⑤学校体力向上取組み

- ・学校のみならず、家庭や地域社会との連携を図る
- ・日常生活において体育・健康に関する活動を行う
- ・生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う

(1)活動案

- ・徒歩通学、自転車通学推進
- ・休み時間の活動促進
- ・仮屋湾遠泳
- ・町内一周ウォークラリー など

⑥学年区分

仮決定事項

- ・義務教育9年間を学習、生活、身体の成長などの視点から見て、最適な教育環境を提供できる区分
- ・小学6年生から中学1年に進級するときのつまづきをなくす
- ・5・6・7年生の学習内容につながりを持たせる など

現行

小学1～6年

中学1年～3年

新学校

1年～4年

5年～7年

8年～9年

⑦授業時間

仮決定事項

- ・1～4年生の授業時間:45分
- ・5～9年生の授業時間:50分
- ・授業の開始時間は、全学年同じ
- ・全学年ノーチャイムとする

現行

有徳小	有浦中	値賀小	値賀中
ノーチャイム	ノーチャイム	チャイム使用	ノーチャイム

⑧校納金徴収

仮決定事項

【現状】

- ①教材費、社会科見学費、修学旅行費、スポーツ振興センター掛金、課外活動経費など
- ②徴収は、保護者→子ども→学校へ
- ③年度初めに計画を示し、年度末報告・精算

【新学校】

- ①現状と同方法で徴収
- ②計画立案や報告は教職員が行う
- ③徴収や会計事務は事務職員等が行う

⑨立腰教育

仮決定事項

- 平成23年度より、保小連携活動の一環として実施。
- 今年度からは小学校でも実施。
- 立腰とは、腰骨を立てて、姿勢を正す。
- 立腰を行い、区切りをつけて、話を聞く、心を落ち着ける、集中するタイミングを身につける。
- 1年生～9年生まで全学年導入する。

⑩独自試験(ASU検)

仮決定事項

- ・暗記や公式を活用するなど、知識を養う問題に対し、ASU検は知識を活用する能力、応用する能力養う問題。
- ・公式に当てはまらない問題や日常生活にちなんだ問題などを作り、月に1回実施。
- ・小中一貫校でも継続して実施する。

・問題例(3, 4, 5年生)

次の4つの数と $+$ 、 $-$ 、 $\times$ 、 $\div$ を使って 答えが15になる式を作りなさい

(例) 1、3、6、9 $\rightarrow (6-1) \times 9 \div 3 = 15$

1、2、4、7 $\rightarrow$

⑪グリーンカーテン

仮決定事項

- ・つる系の植物を育てる。
- ・教室に入る直射日光を遮る。

あおば保育園



⑫独自学習

- ・決められた教科などに限らず、独自の学習内容を設定し、学習を行う
- ・導入例

学校	取組み名	内容
小国町立小国小	小国学	交流やボランティア
八女市立上陽北 湊小中学校	礼節・ことば科	挨拶・礼儀・作法 敬語・ことば遣い

- ・学習内容例
エネルギー学習、地域学習、礼儀・道徳など

⑬外国語活動

仮決定事項

【現状】

- ・5、6年生：外国語活動
- ・中1～3：英語科
- ・保育園(年長)でも英語活動を実施中。

【新学校】

- ・保育園から9年生までつながりを持つ。
- ・1～4年生も外国語活動を実施

⑭ステップ学習

仮決定事項

- 対象は1～4年生
- 通常の算数の授業とは別に行う
- 学年の枠にとらわれない
- 基礎基本を確実に定着
- 理解度に応じて進捗が異なる学習を行う

⑮持続発展教育（ユネスコスクール）

- ・今後も地球が、社会が存続して、発展していくために必要な「人づくり」を行う教育
- ・現在、地球が抱える課題
気候変動、エネルギー・資源確保、食糧自給、貧困、環境破壊など
- ・課題に対する取組みを通じて、
考え方、視点、コミュニケーション、リーダーシップ
- ・有徳小学校・値賀小学校はユネスコスクール認定校
- ・小中一貫校として持続発展教育に取組み、全学年の学習に取り入れる

①⑥小中合同行事

仮決定事項

- ・入学式や卒業式、運動会、学習発表会などの学校行事を合同で行う
- ・全学年、1～4年、1～6年、5～9年など内容に合わせて組み合わせを設定

⑪給食提供方法

- ・校舎内に給食調理場を設置
- ・給食はランチルーム又は教室で食べる
- ・給食費徴収方法は、現在と同じ



⑱ 昼仮眠

- ・ 昼休み終り15分間に仮眠とり、午後の授業に備える
- ・ 希望者が仮眠ルームに集まり、10分程度仮眠、5分程度ストレッチ
- ・ 試行し、導入を検討する
- ・ 導入事例：明治学園小学校



①9部活動種目

仮決定事項

- ・現状の種目を基本
- ・対象は7年生以上
- ・外部指導者の積極活用

種目	現在	
	有浦中	値賀中
バスケットボール(男女)	16名	14名
バレーボール(女)	15名	12名
ソフトボール(女)	—	7名
野球(男女)	16名	2名
吹奏楽(男女)	11名	—
ソフトテニス(女)	13名	—

②⑩夜間学習

- ・9年生のうち、希望者
- ・受験対策として、9月～2月の6ヶ月間、2時間程度
- ・受講料を設定
- ・目標達成に向けた学習環境を設置